



令和5年度 文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(女性リーダー育成型)



武庫川女子大学

事業報告書

令和5年度・令和6年度



目 次

ご挨拶

- ・武庫川女子大学 女性研究リーダー育成推進センター センター長（学長） 高橋享子 - - - - - 1
- ・武庫川女子大学 女性研究リーダー育成推進センター 副センター長 中尾賀要子 - - - - - 2

事業概要

- ・事業実施期間 - - - - - 3
- ・実施体制 - - - - - 3
- ・体制の概要 - - - - - 3
- ・取組概要（目標） - - - - - 3
- ・武庫川女子大学サイエンス・コモنزについて - - - - - 3
- ・行動計画と実施状況 - - - - - 4
- ・検討グループ（ワーキンググループ）について - - - - - 4

令和5年度 活動内容報告

- ・運営委員会・各検討グループ紹介 - - - - - 5
- ・キックオフシンポジウム（第1回シンポジウム） - - - - - 7
- ・女性研究者交流会 - - - - - 7
- ・女性研究者のためのリーダー育成研修 - - - - - 7
- ・教育支援員制度 - - - - - 8
- ・広報活動 - - - - - 9

令和6年度 活動内容報告

- ・運営委員会・各検討グループ紹介 - - - - - 10

行動計画I「女性研究者、博士学生の処遇向上と大胆な人事制度改革」

- ・教育支援員制度 - - - - - 13
- ・大学院学生フェロシップ制度 - - - - - 13
- ・キャリア・カウンセリング - - - - - 13
- ・プレコンセプションケアセミナー - - - - - 13
- ・第1回ランチタイムミーティング - - - - - 14
- ・第2回ランチタイムミーティング - - - - - 14
- ・ラビークラブ見学会 - - - - - 14

行動計画II「国内外研究留学やクロスアポイントメント制度による研究力向上」

・女性研究リーダー研修（在外研修・国内研修）	15
・架橋横断的重点共同研究・グローバル共同研究支援制度	15
・サイエンス・コモンズ セミナー	16
・MUKOJO研究ポットラック	17
・武庫川女子大学サイエンス・コモンズ内覧会	18

行動計画III「若手研究者の裾野拡大、次世代女性リーダー育成の加速化」

・女性リーダーシップ研修（ゴンザガ大学・オンライン）	19
・女性リーダーシップ研修（ゴンザガ大学・現地開催）	19
・女性研究リーダー育成のための英語スキルアップ研修	19
・女性研究者交流会	19
・KAKEN塾	20
・研究倫理塾	20
・KAKEN塾+	20
・第1回大学院生交流会	21
・第2回大学院生交流会	21

行動計画IV「女性管理職（学長、副学長、学部長含む）への積極的な登用」

本事業の社会実装

・第2回シンポジウム	22
・広報活動	23

ご挨拶



武庫川女子大学
女性研究リーダー育成推進センター
センター長（学長）

高橋 享子



武庫川女子大学は、令和5年度に、文部科学省科学技術人材育成補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」に採択され、「女子総合大学における挑戦的次世代女性リーダー育成プログラム」を推進できることを、大変光栄に存じます。本年次報告書を通じて、これまでの進捗を報告できますことを大変喜ばしく思うとともに、本取り組みに対する意欲を一層強くしております。

本学は、「立学の精神」に基づき、自ら考え動く人材の育成を目的として「MUKOGAWA COMPASS」を定めています。この人材育成方針のもと、「研究力の強化と多様性の追求」を戦略的政策として位置づけ、長年にわたり女性の教育と研究を支えてまいりました。特に、理数系や工学系といった多様な分野における女性人材の早期育成に注力してきたこと、また、文部科学省「女性研究者研究活動支援事業」や文部科学省科学技術人材育成補助事業「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」で培った実績は、本学が目指すダイバーシティ研究環境の確かな礎であり、今回の挑戦を力強く支えるものとして確信しています。

一方で、社会の変革期においては、女性研究者がその能力を最大限に発揮し、リーダーシップを発揮できる環境の整備が、今、まさに高等教育機関に課せられた重要な使命であると認識しています。特に、理系分野における大学院進学率や若手研究者の比率、そして教授職における女性比率の向上は、本学が次世代の教育・研究を担うリーダーを育成する上で、今後も継続して取り組むべき重要な課題です。

本プログラムでは、本学のこれまでの実績と経験を最大限に活かし、以下の目標達成に向けて具体的な行動計画を実行してまいります。

1. 女性研究者、博士学生の処遇向上と大胆な人事制度改革

フェローシップ制度の創設、ライブイベントと研究活動の両立支援、研究支援員制度の拡充などを通じて、研究に専念できる環境を整備します。

2. 国内外研究留学や研修制度による研究力向上

アメリカ分校や協定大学との連携、さらに「武庫川女子大学サイエンス・コモンズ」の拡大・発展を通じて、国際的・領域架橋的な共同研究を推進し、グローバルな研究力を強化します。

3. 若手研究者の裾野拡大、次世代女性リーダー育成の加速化

キャリア相談、リーダーシャドウイング、「MUKOJO 未来教育プログラム SOAR」などを活用し、判断力と適応力を備えた包括的リーダーの育成を目指します。

4. 女性管理職（学長、副学長、学部長含む）への積極的な登用

学長のリーダーシップのもと、「女性教員採用比率 50%」を徹底し、女性研究者在職比率 50% 以上、女性教授比率 40% 以上を通じて、多様なリーダーの育成を推進します。

本事業が、武庫川女子大学におけるダイバーシティ研究環境のさらなる進展に寄与し、ひいては女性が社会のあらゆる分野でリーダーシップを発揮できる豊かな社会の実現に貢献できるよう、全教職員一同、心を一つにして全力を尽くす所存です。今後とも、本プログラムの活動に対しまして、変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



武庫川女子大学
女性研究リーダー育成推進センター
副センター長

中尾 賀要子



この度、武庫川女子大学が令和5年度に文部科学省科学技術人材育成補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」に採択され、「女子総合大学における挑戦的次世代女性リーダー育成プログラム」を開始してから、早くも1年半が経過いたしました。ここにこれまでの活動をご報告するにあたり、事業推進の責任者として、改めて身の引き締まる思いを抱いております。

本学は、長きにわたり女子教育に携わってまいりました。その中で、女性研究者がライフイベントと研究を両立させることの難しさや、キャリアアップの道のりで直面するさまざまな課題について、私自身も深く考える機会が多々ございました。本プログラムは、まさにそうした女性研究者が抱える課題に、大学として真摯に向き合い、具体的な解決策を模索する大切な取り組みだと認識しております。

この1年半、学長をセンター長とする強力な体制のもと、私たちは以下の4つの行動計画を着実に推進してまいりました。

- 女性研究者や博士学生の処遇向上に向けては、フェローシップ制度の運用を開始し、研究支援員の拡充にも力を入れるなど、研究に集中しやすい環境づくりを進めています。

- 国内外の留学や研修制度の活用については、協定大学との連携を強化し、「武庫川女子大学サイエンス・コモンズ」も活用しながら、グローバルな共同研究の機会を広げています。実際に、国際的な交流が活発化し、新たな共同研究の芽が育ち始めています。

- 若手研究者の裾野拡大と次世代リーダー育成に関しては、女性研究者が早い段階からリーダーシップを意識し、将来の可能性を広げられるよう、米国協定大学のファカルティによるオンライン並びにオンサイトのリーダーシップ研修といった、具体的なサポートを始めています。

- そして、大学全体の目標でもある女性管理職比率の向上につきましても、学長自らが部局ごとの具体的な計画策定と進捗確認を重ね、着実に歩みを進めております。

これまでの「女性研究者研究活動支援事業」や「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」で培ってきた経験とノウハウを最大限に活かしつつ、本学の女性研究者が、より自由に、より力強く研究活動を続けられるよう、教職員一同、力を尽くしてまいります。

至らぬ点も多々あるかと存じますが、この新たな挑戦が、武庫川女子大学の、ひいては日本の研究環境に、良い変化をもたらすことを切に願っております。今後も本プログラムの進捗にご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

事業概要

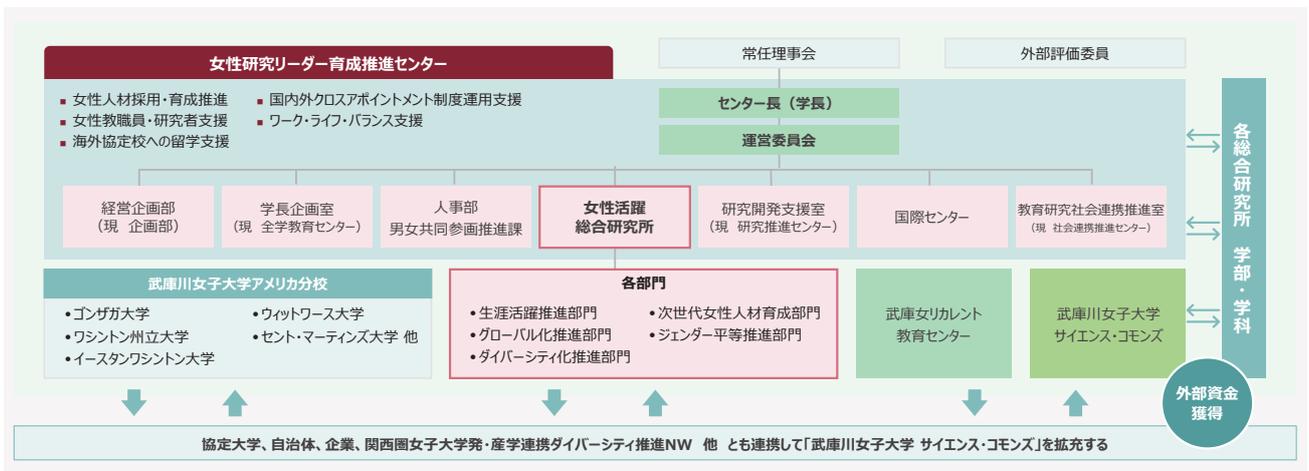
事業実施期間

令和5年度～令和10年度

実施体制

学長の強いリーダーシップのもとで女性研究リーダー育成推進センターを設置し、本事業の推進母体である女性活躍総合研究所と学内主要部局との緊密な連携組織を構築します。センターは、活動の拠点である「武庫川女子大学サイエンス・コモンズ」を設置し、学部・学科、各総合研究所、協定大学、自治体等との密接な連携により本事業を運営しています。

体制の概要

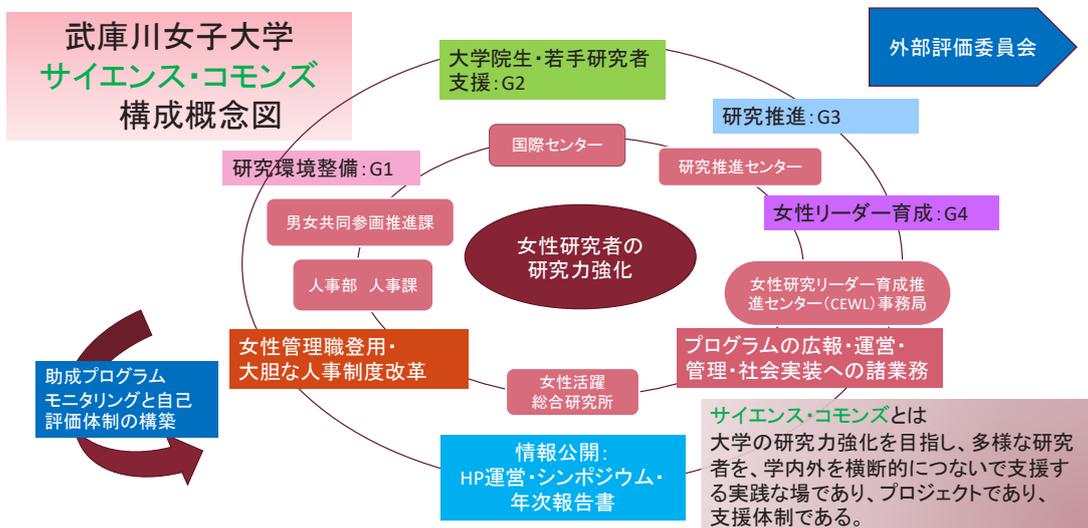


取組概要 (目標)

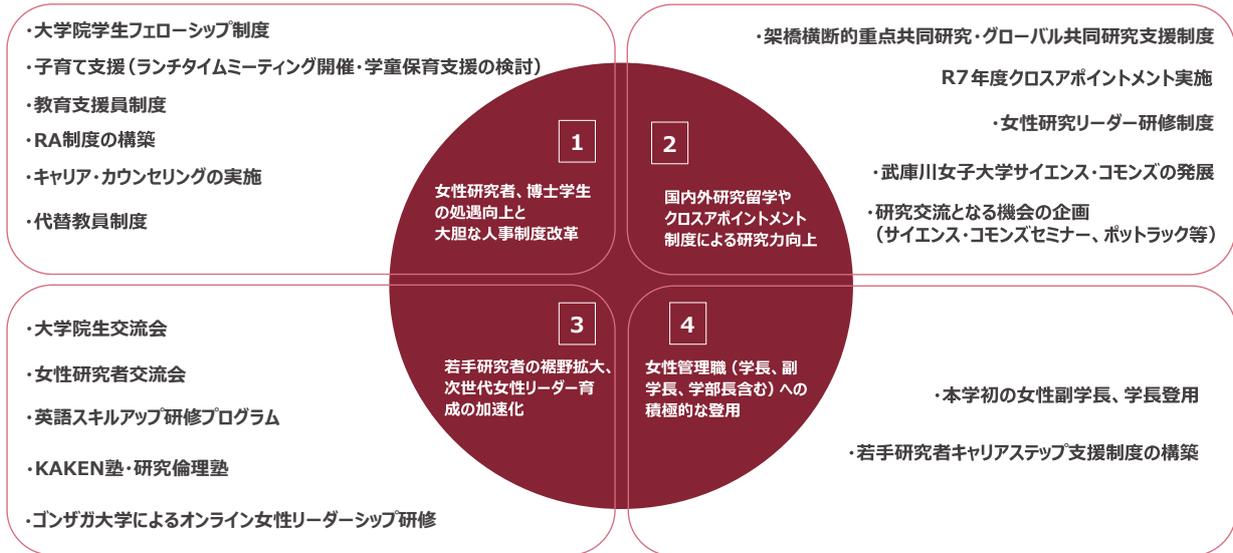
次の取り組みにより、女性管理職（教授）比率 40%以上を実現！

1. 研究の高度化と多様性を追求するため、女性研究者の研究力強化に向けた環境整備
2. 多様な知と人材との交流による国際的領域架橋研究の開発
3. 意欲ある女性研究者の人材確保と、共同研究を推進する女性リーダーの育成
4. 女性研究者の大学マネジメントに係る能力開発

武庫川女子大学サイエンス・コモンズについて



行動計画と実施状況



検討グループ(ワーキンググループ)について

本事業は行動計画を実行するにあたり、4つのグループを設けて活動をしています。

各グループは次の名前で活動をしています。

「グループ1:研究環境整備」

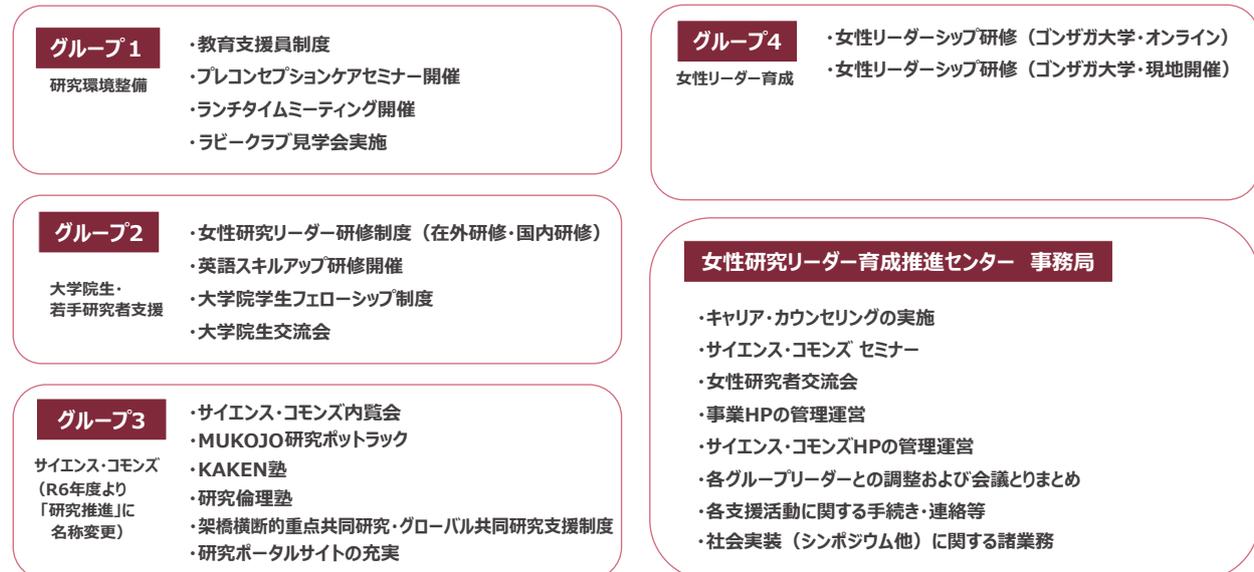
「グループ2:大学院生・若手研究者支援」

「グループ3:サイエンス・commons(令和6年度より「研究推進」に名称変更)」

「グループ4:女性リーダー育成」

なお、女性研究リーダー育成推進センター事務局では、各グループに属していない支援や各グループの事務手続き等を行っています。

●各グループの活動



令和5年度 活動内容報告

運営委員会・各検討グループ紹介

■ 女性研究リーダー育成推進センター

	職名	氏名
センター長	学長	瀬口 和義
副センター長	女性活躍総合研究所長	高橋 享子
センター員	副学長	山崎 彰
	副学長	河合 優年
	教学局長	橋本 光能
	学長企画室長	北口 勝也
	研究開発支援室長	松井 徳光
	事務局長	瀧居 豊
	事務局次長兼経営企画部長	上畑 康秀
	事務局次長兼経理部長	玉田 健二
	人事部長	私市 佐代美

■ 女性研究リーダー育成推進センター運営委員会

	職名	氏名
運営委員長	学長・センター長	瀬口 和義
運営委員	副学長	山崎 彰
	副学長	河合 優年
	女性活躍総合研究所長	高橋 享子
	教学局長	橋本 光能
	学長企画室長	北口 勝也
	研究開発支援室長	松井 徳光
	事務局長	瀧居 豊
	事務局次長兼経営企画部長	上畑 康秀
	事務局次長兼経理部長	玉田 健二
		人事部長

■ 検討グループメンバー

1. 研究環境整備 (グループ長: 河合先生 WGリーダー: 中村先生)

【庶務: 男女共同参画推進課】

	氏名	役職名・部門名	所属等
1	河合 優年	副学長・男女共同参画推進委員長	教研・所長
2	中村 明美	男女共同参画推進委員 (専門員)	教育・准教授
3	中尾 賀要子	男女共同参画推進委員 (専門員)	教研・准教授
4	金谷 志子	男女共同参画推進委員 (専門員)	看護・教授
5	福崎 わかな	男女共同参画推進課長	

2. 大学院生・若手研究者支援 (グループ長: 高橋先生 WGリーダー: 吉田先生)

【庶務: 国際センター】

	氏名	役職名・部門名	所属等
1	高橋 享子	女性活躍総合研究所長	食物・学部長
2	吉富 志津代	国際センター長	心福・教授
3	荒木 聡美	国際センター事務部長	
4	小田 洋一郎	国際センター国際課長	
5	中原 朗裕	アメリカ分校 (MUSC)副学長	英文・教授
6	吉田 徹	女性活躍総合研究所グローバル化推進部門リーダー	食物・教授
7	A.L. エイデン	女性活躍総合研究所グローバル化推進部門	共通・准教授
8	西尾 亜希子	女性活躍総合研究所グローバル化推進部門	共通・教授
9	吉川 紀子	女性活躍総合研究所グローバル化推進部門	薬学・准教授
10	渡邊 完児	大学院活性化担当	健康・学部長
11	稲積 包則	教務部事務部長	
12	正司 雅士	人事課主任	食物・教授
13	松井 徳光	研究開発支援室長	
14	松風 直子	研究開発支援課長	

3. サイエンス・コモンズ (グループ長:河合先生 WGリーダー:宇野先生 WGサブリーダー:長谷川先生)

【庶務:研究開発支援課】

	氏名	役職名・部門名	所属等
1	河合 優年	副学長	教研・所長
2	長谷川 裕紀	女性活躍総合研究所次世代女性人材育成部門リーダー	共通・准教授
3	和泉 志穂	女性活躍総合研究所次世代女性人材育成部門	情報・准教授
4	山下 紗矢佳	女性活躍総合研究所次世代女性人材育成部門	経営・講師
5	宇野 朋子	女性活躍総合研究所生涯活躍推進部門リーダー	建築・准教授
6	吉田 都	女性活躍総合研究所生涯活躍推進部門	薬学・教授
7	竹本 由美子	女性活躍総合研究所生涯活躍推進部門	環境・准教授
8	私市 佐代美	人事部長	
9	松井 徳光	研究開発支援室長	食物・教授
10	松風 直子	研究開発支援課長	
11	谷村 勇一	教育研究社会連携推進室事務部長	

4. 女性リーダー育成 (グループ長:高橋先生 WGリーダー:中尾先生)

【庶務:女性活躍総合研究所】

	氏名	役職名・部門名	所属等
1	高橋 享子	女性活躍総合研究所長	食物・学部長
2	中尾 賀要子	女性活躍総合研究所ジェンダー平等推進部門リーダー	教研・准教授
3	金谷 志子	女性活躍総合研究所ジェンダー平等推進部門	看護・教授
4	私市 佐代美	人事部長	
5	大島 浩	人事部次長	
6	高橋 千枝子	女性活躍総合研究所生涯活躍推進部門	経営・教授
7	宇野 朋子	女性活躍総合研究所生涯活躍推進部門リーダー	建築・准教授
8	吉井 美奈子	女性活躍総合研究所生涯活躍推進部門	教育・准教授
9	中瀬 朋夏		薬学・教授
10	田中 美吏		健康・准教授

本事業では、行動計画を実行するにあたり、4つのグループを設けて事業を進めています。

グループ1は「研究環境整備」とし、女性研究者や博士学生の処遇向上のための取り組みを支援しています。

グループ2は「大学院生・若手研究者支援」とし、国内外研究留学やクロスアポイントメント制度による研究力向上・大学院生・若手研究者支援をしています。

グループ3は「サイエンス・コモンズ」とし、若手研究者の裾野拡大、研究推進を支援しています。

グループ4は「女性リーダー育成」とし、次世代女性リーダー育成の加速化を推進しています。

■ 令和5年度活動内容

年月日		令和5年度 主な活動内容
令和5年	12月 1日	令和5年度教育支援員配置
	12月14日	ダイバーシティ (女性リーダー育成型) 説明会-女性研究者交流会-開催
令和6年	2月16日	キックオフシンポジウム開催 (第1回シンポジウム)
	3月 4日	女性研究者のためのリーダー育成研修「アサーティブコミュニケーション」開催
	3月 8日	女性研究者のためのリーダー育成研修「ハラスメント対策」開催
	3月11日	女性研究者のためのリーダー育成研修「リーダーシップ」開催
	3月15日	女性研究者のためのリーダー育成研修「異文化理解」開催
	3月	リーフレット 発行
	3月	NEWSLETTER vol.1 発行

キックオフシンポジウム (第1回シンポジウム)

テーマ：「女子大学における次世代女性リーダーの育成」

日時：令和6年2月16日(金) 13:30~15:40

会場：日下記念マルチメディア館メディアホール

参加者：本学関係者・一般 108名

内容：第1部 基調講演Ⅰ「日本が目指す女性リーダー育成」

科学技術振興機構プログラム主管 山村康子氏

基調講演Ⅱ「女子総合大学における挑戦的次世代女性リーダー育成プログラム～武庫川女子大学の取り組みと女性研究者の未来～」
女性活躍総合研究所所長 高橋享子

第2部 パネルディスカッション テーマ「女性リーダーが活躍する社会の実現」

パネリスト 科学技術振興機構プログラム主管 山村康子氏

奈良女子大学学長 今岡春樹氏

西宮商工会議所副会頭 古野幸男氏

女性活躍総合研究所所長 高橋享子

ファシリテーター 高橋千枝子(女性活躍総合研究所研究員)

令和5年度、武庫川女子大学は文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(女性リーダー育成型)」の取組機関として選定されました。私立大学として唯一、また女子大学としても唯一の選定であることを受け、その意義を広く共有するため、本学ではキックオフシンポジウムを開催しました。

本シンポジウムでは、「女子大学における次世代女性リーダーの育成」を主題に掲げ、基調講演およびパネルディスカッションを通じて、女性研究者の育成と活躍推進に向けた課題と展望について多角的に議論を深めました。

参加者からは、「日本最大の女子総合大学がこの事業に採択されたことは非常に意義深い。今後の展開に大いに期待している」「日本における女性を取り巻く社会の現状を知るとともに、本学が進める女性リーダー育成の取り組みの重要性を実感した」といった声が寄せられ、シンポジウムの意義と影響の大きさがうかがえました。



女性研究者交流会

日時：令和5年12月14日(木) 15:00~16:30

会場：文学2号館 L2-11

参加者：本学の教育職員(助手以上) ※男性教育職員含む大学院生(修士・博士課程)

本学の関係事務職員 56名(会場・Zoom配信)

講師：高橋享子 教授(女性活躍総合研究所所長)

題目：ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業説明会(女性リーダー育成型)

事業開始にあたり、実施責任者である高橋享子所長(女性活躍総合研究所所長・女性研究リーダー育成推進センター副センター長)が登壇し、本事業における主要な取り組みとして新たに創設される「女性リーダーシップ研修」や「大学院学生フェロシップ制度」などの具体的な内容について説明を行いました。

説明会後の質疑応答では、参加した女性研究者や大学院生から、各施策の対象や実施方法に関する具体的な質問が多数寄せられ、本事業に対する学内の高い関心と期待がうかがえる機会となりました。



女性研究者のためのリーダー育成研修

テーマ：「アサーティブコミュニケーション」

日時：令和6年3月4日（月）13:30～16:30

会場：研究所棟 I-304

参加者：本学の女性研究者および教職員、大学院生（博士課程・修士課程）
62名（会場・Zoom配信・オンデマンド）

テーマ：「ハラスメント対策」

日時：令和6年3月8日（金）13:30～16:30

会場：研究所棟 I-304

参加者：本学の女性研究者および教職員、大学院生（博士課程・修士課程）
64名（会場・Zoom配信・オンデマンド）

テーマ：「リーダーシップ」

日時：令和6年3月11日（月）13:30～16:30

会場：研究所棟 I-306

参加者：本学の女性研究者および教職員、大学院生（博士課程・修士課程）
63名（会場・Zoom配信・オンデマンド）

テーマ：「異文化理解」

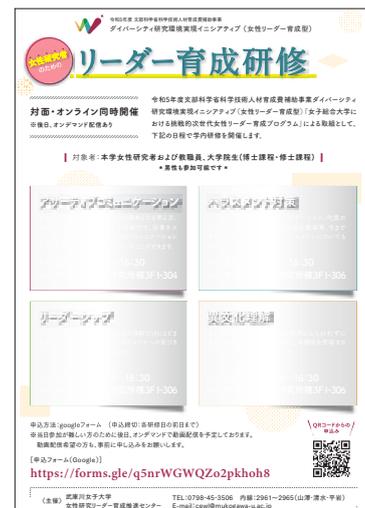
日時：令和6年3月15日（金）13:30～16:30

会場：研究所棟 I-306

参加者：本学の女性研究者および教職員、大学院生（博士課程・修士課程）
62名（会場・Zoom配信・オンデマンド）

世界的にも注目度の高い「アサーティブコミュニケーション」「ハラスメント対策」「リーダーシップ」「異文化理解」の4つのテーマを取り上げ、学外から講師を招いてリーダー育成研修を実施しました。各回の研修は、レクチャー、個人ワーク、グループワークの3部構成で行われ、参加者は講義で得た知識を個人ワークで自身の経験に照らして整理し、グループワークでは他の参加者との対話を通じて多様な視点を学び合いました。

参加者からは、「これまでの自分の意識を見直すきっかけになった」「明日からすぐ実践してみたい」「同じ指示でも人によって対応が異なり、まさに多様性を実感した」といった感想が寄せられ、研修の実践的な内容と学びの深さが高く評価されました。



令和6年度 女性研究者のリーダー育成研修
ダイバーシティ研究推進実践イニシアティブ（女性リーダー育成型）

リーダー育成研修

対面・オンライン同時開催
令和6年度 女性研究者のリーダー育成研修 実践イニシアティブ（女性リーダー育成型）女子総合大学における継続的次世代女性リーダー育成プログラムによる取組として、下記の日程で学内研修を開催します。

【対象者】本学女性研究者および教職員、大学院生（博士課程・修士課程）
※異動も参加可能です。

研修テーマ	日時	会場
アサーティブコミュニケーション	3月4日 13:30～16:30	研究所棟 I-304
ハラスメント対策	3月8日 13:30～16:30	研究所棟 I-304
リーダーシップ	3月11日 13:30～16:30	研究所棟 I-306
異文化理解	3月15日 13:30～16:30	研究所棟 I-306

申込方法：googleフォーム（申込締切：各研修日の前日まで）
※異動参加が難しい方のため、オンラインで参加登録を予定しております。
参加登録希望の方も、事前に申し込みをお願いたします。

【申込フォーム(Google)】
<https://forms.gle/q5nrWGWQZo2pkhoh8>

【お問い合わせ】
女性研究者リーダー育成推進センター
TEL: 0799-42-2506 内線: 2951・2955(山崎・清水・中野)
E-mail: cml@ml.ogawa-u.ac.jp



教育支援員制度

本学の上位職（教授以上）の職位にある女性研究者に対して、研究時間の確保を目的とし、教育業務を支援する職員を配置する制度です。

令和5年度は、1名が利用しました。

広報活動

事業紹介リーフレット (令和6年3月発行)

武庫川女子大学 女性研究リーダー育成推進センター

〒663-8558 兵庫県西宮市西園町6-45
TEL: 0798-45-8306
FAX: 0798-45-3468
E-mail: cewl@mukogawa-u.ac.jp
HP: https://www.mukogawa-u.ac.jp/~cewl/

https://www.mukogawa-u.ac.jp/~cewl/assets/pdf/leaflet_001.pdf



NEWSLETTER vol.1 (令和6年3月発行)

武庫川女子大学 女性研究リーダー育成推進センター

NEWS LETTER vol.1 2024.3

◆テーマ「女子大学における次世代女性リーダーの育成」◆

◆キックオフイベント開催しました◆

https://www.mukogawa-u.ac.jp/~cewl/assets/pdf/newsletter_vol1.pdf



事業PR動画の作成 (令和6年3月撮影)



<https://youtu.be/tdU1ozfpOpq>



<https://youtu.be/72zwey9KP3o>



<https://youtu.be/a9lezkRTUGg>



サイネージ用事業PR動画

令和6年度 活動内容報告

運営委員会・各検討グループ紹介

■ 女性研究リーダー育成推進センター

	職名	氏名
センター長	学長	瀬口 和義
副センター長	副学長	高橋 享子
センター員	副学長	山崎 彰
	副学長	河合 優年
	副学長	郡 千寿子
	教学局長	橋本 光能
	学長企画室長	北口 勝也
	研究推進センター長	松井 徳光
	事務局長	大野 勝利
	事務局次長兼人事部長	私市 佐代美
	事務局次長兼経理部長	玉田 健二
	経営企画部長	稲積 包則
社会連携推進センター事務部長	谷村 勇一	

■ 女性研究リーダー育成推進センター運営委員会

	職名	氏名
運営委員長	学長	瀬口 和義
運営委員	副学長	山崎 彰
	副学長	河合 優年
	副学長	高橋 享子
	副学長	郡 千寿子
	教学局長	橋本 光能
	学長企画室長	北口 勝也
	研究推進センター長	松井 徳光
	事務局長	大野 勝利
	事務局次長兼人事部長	私市 佐代美
	事務局次長兼経理部長	玉田 健二
	経営企画部長	稲積 包則
社会連携推進センター事務部長	谷村 勇一	

■ 検討グループメンバー

1. 研究環境整備 (グループ長:高橋先生 WGリーダー:中村先生)

【庶務:男女共同参画推進課】

	氏名		所属等
1	高橋 享子	副学長 (ダイバーシティ) ・ 女性活躍総合研究所長	食物・学部長
2	中村 明美	男女共同参画推進専門員	教育・教授
3	中尾 賀要子	男女共同参画推進専門員	教総研・准教授
4	金谷 志子	男女共同参画推進専門員	看護・教授
5	福崎 わかな	男女共同参画推進課長	
6	松本 芳江	男女共同参画推進課主任	

2. 大学院生・若手研究者支援 (グループ長:高橋先生 WGリーダー:田中先生)

【庶務:国際センター】

	氏名	役職名・部門名	所属等
1	高橋 享子	副学長 (ダイバーシティ) ・ 女性活躍総合研究所長	食物・学部長
2	吉富 志津代	国際センター長	社福・教授
3	荒木 聡美	国際センター事務部長	
4	小田 洋一郎	国際センター国際課長	
5	中原 朗裕	アメリカ分校 (MUSC)副学長	英文・教授
6	A.L. エイデン	女性活躍総合研究所グローバル化推進部門	共通・准教授
7	田中 真由美	女性活躍総合研究所グローバル化推進部門	英文・教授
8	C.M.エドルマン	女性活躍総合研究所グローバル化推進部門	英文・講師
9	渡邊 完児	大学院活性化担当	健康・学部長
10	正司 雅士	人事課主任	
11	松井 徳光	研究推進センター長	食物・教授
12	松風 直子	研究推進センター次長兼研究推進課長	

3. 研究推進 (グループ長:河合先生 WGリーダー:宇野先生 WGサブリーダー:長谷川先生)

【庶務:研究推進課】

	氏名	役職名・部門名	所属等
1	河合 優年	副学長 (研究全般)	教総研・教授
2	長谷川 裕紀	女性活躍総合研究所次世代女性人材育成部門リーダー	共通・准教授
3	和泉 志穂	女性活躍総合研究所次世代女性人材育成部門	情報・准教授
4	山下 紗矢佳	女性活躍総合研究所次世代女性人材育成部門	経営・准教授
5	宇野 朋子	女性活躍総合研究所生涯活躍推進部門リーダー	建築・准教授
6	吉田 都	女性活躍総合研究所生涯活躍推進部門	薬学・教授
7	竹本 由美子	女性活躍総合研究所生涯活躍推進部門	環境・准教授
8	私市 佐代美	事務局次長兼人事部長	
9	松井 徳光	研究推進センター長	食物・教授
10	松風 直子	研究推進センター次長兼研究推進課長	
11	谷村 勇一	社会連携推進センター事務部長	

4. 女性リーダー育成 (グループ長:高橋先生 WGリーダー:中尾先生)

【庶務:女性活躍総合研究所】

	氏名	役職名・部門名	所属等
1	高橋 享子	副学長 (ダイバーシティ) ・女性活躍総合研究所長	食物・学部長
2	中尾 賀要子	女性活躍総合研究所ジェンダー平等推進部門リーダー	教総研・准教授
3	金谷 志子	女性活躍総合研究所ジェンダー平等推進部門	看護・教授
4	私市 佐代美	事務局次長兼人事部長	
5	大島 浩	人事部次長	
6	高橋 千枝子	女性活躍総合研究所生涯活躍推進部門	経営・教授
7	宇野 朋子	女性活躍総合研究所生涯活躍推進部門リーダー	建築・准教授
8	吉井 美奈子	女性活躍総合研究所生涯活躍推進部門	教育・准教授
9	中瀬 朋夏		健生薬・教授
10	田中 美吏		健康・教授

本事業では、行動計画を実行するにあたり、4つのグループを設けて事業を進めています。

グループ1は「研究環境整備」とし、女性研究者や博士学生の処遇向上のための取り組みを支援しています。

グループ2は「大学院生・若手研究者支援」とし、国内外研究留学やクロスアポイントメント制度による研究力向上・大学院生・若手研究者支援をしています。

グループ3は「研究推進」とし、若手研究者の裾野拡大、研究推進を支援しています。

グループ4は「女性リーダー育成」とし、次世代女性リーダー育成の加速化を推進しています。

■ グループリーダー会議について

本事業では、グループごとに支援・推進する取り組みが多いことから、毎月定期的にグループリーダー会議を開催し、リーダー同士の認識確認や意思統一を行っています。

令和6年度は14回開催しました。

開催日: 4/4・4/19・5/17・5/30・6/13・7/8・7/31・9/19・10/10・11/7・11/21・1/16・2/13・3/18

■ 令和6年度活動内容

	年月日	令和6年度 主な活動内容
令和6年	4月 1日	令和6年度教育支援員配置
	4月 1日	カウンセラー配置（キャリア・カウンセリング開始）
	4月22日	令和6年度女性研究リーダー研修員 採択者決定
	5月29日	サイエンス・コモンズ「オープニング内覧会」開催
	6月～7月	令和6年度 KAKEN塾【若手研究・基盤研究（C）以上対象】開催 計5回（6/1、6/15、6/29、7/13、7/27）
	6月 8日	令和6年度 KAKEN塾【基盤研究（B）以上対象】開催 計3回（6/8、7/6、8/3）
	6月19日	第1回サイエンス・コモンズ セミナー開催
	6月24日	令和6年度架橋横断的重点共同研究・グローバル共同研究支援 採択者決定
	6月21日・25日	令和6年度ラビークラブ見学会開催
	6月28日	第1回MUKOJO研究ポットラック開催
	7月 5日	第1回ランチタイムミーティング開催
	7月12日	令和6年度武庫川女子大学大学院フェロシップ制度 採択者決定
	7月24日	第2回サイエンス・コモンズ セミナー開催
	7月25日	第2回MUKOJO研究ポットラック開催
	8月 2日	令和6年度架橋横断的重点共同研究・グローバル共同研究支援（追加募集）採択者決定
	8月21日	第3回MUKOJO研究ポットラック開催
	9月 9日	大学院生交流会～大学院のリアル・研究の楽しさを発見しよう！～開催
	9月～12月	ゴンザガ大学による女性リーダーシップ研修開催 完全オンライン 計7回（9/21、10/5、10/19、11/9、11/16、12/7、12/14）
	9月～10月	令和6年度研究倫理塾 計3回（9/21、10/5、10/19）開催
	9月25日	第3回サイエンス・コモンズ セミナー開催
	10月	NEWSLETTER vol.2発行
	10月17日	令和7年度女性研究リーダー研修員 採択者決定
	10月～12月	女性研究リーダー育成のための英語スキルアップ研修プログラム開催 計5回（10/19、11/2、11/30、12/7、12/14）
	10月23日	プレコンセプションケア セミナー開催
	10月29日	第4回MUKOJO研究ポットラック開催
	10月30日	第4回サイエンス・コモンズ セミナー開催
11月27日	第5回サイエンス・コモンズ セミナー開催	
12月18日	女性研究者交流会開催	
12月19日	第5回MUKOJO研究ポットラック開催	
令和7年	1月29日	第6回サイエンス・コモンズ セミナー開催
	2月21日	第2回シンポジウム開催
	2月26日	第7回サイエンス・コモンズ セミナー開催予定
	3月 1日	第2回大学院生交流会開催予定
	3月	NEWSLETTER vol.3発行

行動計画「女性研究者、博士学生の処遇向上と大胆な人事制度改革」

教育支援員制度

本学の上位職(教授以上)の職位にある女性研究者に対して、研究時間の確保を目的とし、教育業務を支援する職員を配置する制度です。

令和6年度は、4名が利用しました。

大学院学生フェロシップ制度

次世代の女性リーダーを担う若手研究者を育成するための制度で、博士後期課程、または博士課程に在籍する女子学生に研究奨励費を支給します。

令和6年度は5名が採択されました。

氏名	所属	研究テーマ
管 楓花	文学研究科 英語英米文学専攻 博士後期課程1年	語用論的応答の種類－英語教育における語用論的指導の可能性－
池澤 萌子	建築学研究科 建築学専攻 博士後期課程3年	サン・カルロ・アッレ・クワトロ・フォンターネ聖堂におけるモールディングとその空間的効果に関する研究
奥田 史子	薬学研究科 薬学専攻 博士課程4年	微量金属元素の検出を可能とする蛍光プローブの開発
岩崎 徳子	臨床教育学研究科 臨床教育学専攻 博士後期課程1年	大学におけるトランスジェンダー学生に対するキャリア支援体制に関する研究
大山 紀子	臨床教育学研究科 臨床教育学専攻 博士後期課程1年	大学生アスリートの競技力と個人におけるメンタルヘルス状態との関連について

キャリア・カウンセリング

女性研究者のキャリアパスを支援するために、先輩研究者であるカウンセラーに仕事や進路について相談できる場を設けています。

相談日:火曜日・木曜日

相談時間:1回45分を目安に

カウンセラー:上田和子(武庫川女子大学名誉教授/博士(文字))

場所:中央キャンパス研究所棟(l)1階・Zoom

対象者:本学の女性研究者・大学院生

プレコンセプションケアセミナー

日時:令和6年10月23日(水)16:30~18:00

会場:中央図書館2階 グローバル・スタジオ

参加者:本学の女性若手研究者、大学院生、学生14名

講師:永原郁子氏(公益社団法人小さないのちのドア代表者)

研究者の研究環境の整備を図るとともに、学生や若手研究者が自身のキャリア形成について考える契機とすることを目的に、本学は兵庫県と連携し、関連セミナーを開催しました。

参加者からは、「自分の将来につながる大切な話で、自分の人生を見つめる機会となりました」「プレコンセプションケアという言葉を知らなかったが、理解できました」などの感想が寄せられ、研修の意義と参加者の高い関心がうかがえました。

第1回ランチタイムミーティング

日時：令和6年7月5日（金）11:30～13:00
 会場：研究所棟 1-107 サイエンス・コモンズ
 参加者：女性研究者 3名

アドバイザー：中村明美 教授（教育学部教育学科）

女性研究者のキャリア形成を支援するとともに、教職員間の交流および情報交換を促進することを目的として、本学では定期的にランチタイムミーティングを開催しています。

第1回は「研究とプライベートの時間どうしてますか？」をテーマに、日々の業務や生活の中で感じている困りごとを共有し、それぞれの工夫や解決方法について意見交換を行いました。

参加者からは、「普段は話す機会のない先生から他学部の状況を聞くことができ、視野が広がった」「同世代の教職員と30代ならではの迷いや悩みを語り合うことで、前向きな気持ちになれた。まだ話し足りない部分もあり、次回もぜひ参加したい」といった声が寄せられ、交流の場としての意義が大きく感じられる機会となりました。



第2回ランチタイムミーティング

日時：令和7年3月6日（木）11:30～13:00
 会場：ラビークラブ

参加者：女性研究者 4名（お子様3名）

アドバイザー：中村明美 教授（教育学部教育学科）

金谷志子 教授（看護学部看護学科）

第2回は「子育て交流会」と題し、子育てと研究・教育活動の両立に関するさまざまな話題について意見交換を行いました。話題は、「看護休暇の拡大」「育休中および育休後の働き方」「保育所送迎と1時間目授業の調整」「育児と研究、大学業務のバランス」「育児」「子どものきょうだい同士の関わり」など多岐にわたり、参加者同士が日々の工夫や経験を共有する場となりました。

研究者・教育者という立場を超えて、母親としての視点から互いに共感し合い、親睦を深める貴重な機会となりました。退室時には多くの参加者が笑顔を見せており、こうした交流の場が心の支えとなっていることがうかがえました。

ラビークラブ見学会

日時：令和6年6月21日（金）11:30～13:00、
 6月25日（火）11:30～13:00

会場：ラビークラブ

参加者：本学の教職員 3名

本学では、教職員および学生が性別を問わず、安心して業務や学業に取り組めるよう、一時預かり保育ルーム「ラビークラブ」を設置しています。本施設は、西宮市の認可外保育施設基準に準拠し、中央キャンパスから徒歩3分の場所に位置しています。保育業務はポピンズファミリーケアに委託しています。

見学会では、施設の利用方法に加え、ベビーシッター派遣事業についても説明を行いました。参加者からは、「普段は保育園を利用しているが、平日夜や土日の単発業務時に預けられる場所を探しており、見学会に参加した」「子育てしながら働くうえで、頼れる選択肢が一つでも多いと安心できる」といった声が寄せられ、子育て支援への高いニーズがうかがえました。



行動計画II「国内外研究留学やクロスアポイントメント制度による研究力向上」

女性研究リーダー研修（在外研修・国内研修）

研究リーダーを担う女性研究者の教育研究能力の向上を図るため、国内外の大学・研究期間に派遣する制度です。令和6年度は2名が採択されました。

研究者名（所属）	研修先・研修期間・研究テーマ
吉井 美奈子 （教育学科 准教授）	Northern Kentucky University (KY, USA)
	令和6年8月25日～令和7年8月24日
	米国で日本文化がどのように受け入れられ、共生してきたかについての研究 －家庭生活や異文化交流に着目して－
大岡 由佳 （社会福祉学科 准教授）	Portland State University (OR, USA)
	令和7年1月13日～令和7年3月13日
	トラウマインフォームドなソーシャルワーク教育の検討

架橋横断的重点共同研究・グローバル共同研究支援制度

女性リーダーの育成を加速するため、国内外の教育研究機関及び企業等との分野間領域架橋につながる優れた共同研究を支援する制度です。

令和6年度は9名が採択されました。

研究者名（所属）	架橋横断的重点共同研究支援 研究課題
設楽 馨 （日本語日本文学科 准教授）	多文化共生を担う人材育成に資する言語文化探求型プログラムの作成 －日本語・日本文学、第二言語習得、国語科指導を横断する問いと探求－
中村 明美 （教育学科 教授）	女子大学生のキャリア形成支援に用いるキャリア選択自己効力感尺度の開発
野上 恵美 （社会福祉学科 講師）	外国にルーツを持つ児童・生徒の学習意欲に関する社会福祉学的研究
北村 真理 （食創造科学科 教授）	保育現場における園児の咀嚼機能向上を目指した食育プログラムの構築
一ノ瀬 智子 （応用音楽学科 教授）	多分野介入による認知症予防教室における音楽活動の効果に関する検討 －認知機能と呼吸機能の関連に着目して－
吉田 都 （薬学科 教授）	女性に優しい！地球に優しい！武庫女発フェムテック開発 －抗菌消臭快適サニタリーシステムの提案－
吉川 紀子 （薬学科 准教授）	血小板をターゲットとしたがん転移治療法の開発
仁木 洋子 （健康生命薬科学科 准教授）	抗炎症剤内包紫外光性リポソームの経皮キャリア
研究者名（所属）	グローバル共同研究 研究課題
中瀬 朋夏 （健康生命薬科学科 教授）	がん悪液質における硫化水素の役割解明と進行性乳がん治療の新展開

サイエンス・コモンズ セミナー

大学および企業において研究に携わる方、または研究に関心のある方を対象に、月に1回程度「サイエンス・コモンズ セミナー」を武庫川女子大学サイエンス・コモンズにて開催しました。本セミナーは、研究者によるプレゼンテーションを通じて、分野を越えた研究交流を促進し、分野横断的な共同研究の創出につなげることを目的としています。

各回では、研究内容の紹介に加え、ワークショップ形式を取り入れたり、参加者同士の対話や意見交換を活性化させる工夫がされていました。参加者からは、「分野は違いますが、共同研究の可能性やプレゼンテーションの方法など学ぶことが多く、有意義な時間だった」「研究だけでなく私生活にも関わる内容で、重要な示唆を得られた」「ワークショップ形式で参加者をうまく巻き込んでおり、自身の授業運営の参考になった」「フレッシュな話を聞いて視点が広がった」といった声が寄せられました。

回・日時	テーマ	セミナー講師名（所属）	参加人数
第1回 令和6年6月19日（水）	ゼロから始める尺度開発と妥当性	前田 晃宏 （食物栄養学科 講師）	20
第2回 令和6年7月24日（水）	異分野融合研究で考える食の未来	本田 智巳 （食創造科学科 講師）	16
第3回 令和6年9月25日（水）	地域の視点で考えるヒトと企業	山下 紗矢佳 （経営学科 准教授）	14
第4回 令和6年10月30日（水）	治らない病気から治る病気へ －乳がん治療への新たな挑戦と課題－	中瀬 朋夏 （健康生命薬科学科 教授）	22
第5回 令和6年11月27日（水）	大学と自治体による共同研究 －保健師の経験知からの理論知を広く実践に活かすために－	松井 菜摘 （看護学科 講師） 尾原 ゆり子 （大阪市旭区役所保健副主幹）	26
第6回 令和7年1月29日（水）	戦争の記憶と文学のことは	小泉 京美 （日本語日本文学科 講師）	24
第7回 令和7年2月26日（水）	高齢期における感情と意思決定	太子 のぞみ （心理学科 講師）	13



MUKOJO研究ポットラック

研究者がそれぞれの研究シーズを持ち寄り、ディスカッションを通じて仲間を見つけ、新しい研究を育てていくことを目的にMUKOJO 研究ポットラックを武庫川女子大学サイエンス・commonsで開催しました。月1回のペースで行っており、毎回、話題提供者の研究内容をもとにテーマを設定し、教職員や大学院生が分野を越えて意見を交わしています。

これまでには、「女子総合大学としての強みを活かした共同研究を立ち上げたい」「健康診断データを使って学生の健康管理に関する研究を進めたい」といった具体的なアイデアも出てきており、学内での新しい研究の動きが少しずつ生まれています。

回・日時	テーマ	話題提供者（所属）「テーマ・キーワード」	参加人数
第1回 令和6年6月28日（金）	女性のウェルビーイングを考えよう	・高橋 千枝子（経営学科 教授） 「健康・フェムテック・Z世代女子リサーチ」 ・竹本 由美子（生活環境学科 准教授） 「衣生活・快適性・フェムテック」	19
第2回 令和6年7月25日（木）	地域のダイバーシティを考えよう	・藤井 善仁（経営学科 助教） 「地域におけるジェンダー・ギャップー令和6年能登半島震災調査からー」 ・加藤 丈太郎（英語グローバル学科 講師） 「外国人材から移民へー外国人材から移民へー日本・ベトナム間の国際移動の例からー」	17
第3回 令和6年8月21日（水）	女性のウェルビーイングをもっと考えよう・地域のダイバーシティをもっと考えよう	第1回、第2回で出た話題・議論をさらに深くディスカッション	12
第4回 令和6年10月29日（火）	身体機能と QOL	・安田 良子（健康・スポーツ科学科 准教授） 「足部機能・足部アライメント・足趾エクササイズ・バランス・QOL」 ・太子 のぞみ（心理学科 講師） 「加齢・適応・自己評価・運転・移動」	10
第5回 令和6年12月19日（木）	フェムテックについてもっと考えよう	「フェムテック」をキーワードとして、第1回～第4回で出た議論をさらに深くディスカッション	11
第6回 令和7年1月27日（月）	研究資料アーカイブズ、地域史、地域資料保存、鳴尾、文化財	・河野 未央（歴史文化学科 准教授） 「地域資料・研究アーカイブズ」 ・宇野 朋子（建築学科 准教授） 「文化財・歴史的建築の保存環境」	12



武庫川女子大学サイエンス・コモンズ内覧会

日 時：令和6年5月29日（水）17:30～19:00

会 場：研究所棟 1-107 サイエンス・コモンズ

参加者：学院関係者・大学院生113名

武庫川女子大学では、研究者が集まり、アイデアや夢を共有しながら新しい研究を進めていく場として、「武庫川女子大学サイエンス・コモンズ」を中央キャンパス研究所棟1階に新設しました。学部や専門分野を越えてつながり、共同研究のきっかけをつくることを目的としています。

内覧会では、センター長の瀬口和義学長が「女子総合大学としての特性を活かし、学部を越えた研究に多くの人に関わってほしい」と挨拶し、副センター長の高橋享子先生からは事業の概要が紹介されました。その後、7名の教員による研究紹介が行われ、各自の研究テーマや今後の展望について発表がありました。

参加者からは、「学部を越えてつながる場がなかったのでありがたい」「大学院生として相談できる場所があるのは心強い」といった声が寄せられ、会場では活発な交流が生まれていました。



行動計画Ⅲ「若手研究者の裾野拡大、次世代女性リーダー育成の加速化」

女性リーダーシップ研修 (ゴンザガ大学・オンライン)

回・日時	研修テーマ
プレワーク 令和6年9月21日(土)9:00~10:30	ガイダンス
第1回 令和6年10月5日(土)9:00~10:30	世界を取り巻く女性のリーダーシップの現状
第2回 令和6年10月19日(土)9:00~10:30	多様性のある組織の構築
第3回 令和6年11月9日(土)9:00~10:30	ジェンダーとリーダーシップ
第4回 令和6年11月16日(土)9:00~10:30	女性リーダーのモデルづくり
第5回 令和6年12月7日(土)9:00~10:30	机上から実践へ
意見交換会 令和6年12月14日(土)9:00~10:30	研修参加者同士でのふりかえり ※日本語使用

女性リーダーシップ研修〜みとめあう職場文化をつくる〜(全6回)は、協定校である米国ゴンザガ大学の教授2名による講義とグループワークをZoomで実施し、本学の研究者・大学院生20名が参加しました。使用言語は英語で、参加者は多様性を尊重する職場文化の形成や、リーダーとしてのふるまい、人を巻き込む力などについて学びました。研修後の意見交換会では、「女性として活躍する方法」「自分の強みの再認識」などの気づきが共有されました。

Fall 2024
Gonzaga University &
Mukogawa Women's University

女性リーダーシップ研修 みとめあう職場文化をつくる

Summary
本学リーダーシップ・プログラムは、多様な組織文化に貢献者を育てる目的で、職場のリーダーシップを学びながら、コミュニケーション、チームワーク、多様性を尊重する文化を築くことを目指しています。このプログラムでは、米国ゴンザガ大学の教授2名による講義とグループワークを通じて、多様性を尊重する職場文化の形成や、リーダーとしてのふるまい、人を巻き込む力などについて学びました。研修後の意見交換会では、「女性として活躍する方法」「自分の強みの再認識」などの気づきが共有されました。

Speakers
Cynthia M. Cunningham, Ph.D.
Sherril Lynch, Ph.D.

Outline
【プレワーク】 9月21日(土) 9:00-10:30 ガイダンス
【第1回】 10月5日(土) 9:00-10:30 世界を取り巻く女性のリーダーシップの現状
【第2回】 10月19日(土) 9:00-10:30 多様性のある組織の構築
【第3回】 11月9日(土) 9:00-10:30 ジェンダーとリーダーシップ
【第4回】 11月16日(土) 9:00-10:30 女性リーダーのモデルづくり
【第5回】 12月7日(土) 9:00-10:30 机上から実践へ
【意見交換会】 12月14日(土) 9:00-10:30 受講者同士でのふりかえり ※日本語使用

Requirements
□ 本学員(在籍、転出は構わない)
□ Zoomをインストールできる環境
□ グループワークも意見交換会もすべてに参加可能
※事前研修やオンラインプログラムが希望の場合は、事前に本学に連絡してください。

Application Information
下記 Google フォーム または QRコードから申し込みください。
(※ Zoom アドレスまでお送りください)
https://forms.gle/6xkLxYQ2zaxapDA6
or QR Code

女性リーダーシップ研修 (ゴンザガ大学・現地開催)

令和6年度後期に実施されたオンライン研修を経て、令和7年2月には本学女性教員5名が米国ゴンザガ大学にて現地研修に参加しました。3日間にわたるプログラムでは、感情的知性(EQ)や非言語コミュニケーション、多様性理解、クリフトンストレンクス(旧ストレンクスファインダー)を活用した自己分析など、実践的かつ対話的な学びが展開されました。異文化環境での協働や、企業経営を模したシナリオ演習を通じて、参加者は「共感力や柔軟性を活かしたリーダー像」や「自分らしいリーダーシップのあり方」への理解を深めました。オンラインでの理論的学びを土台に、現地での体験を通じて得た気づきは、今後の教育・学生支援、そして本学独自の女性研究リーダー育成プログラムの構築に向けた貴重な礎となっています。

女性研究リーダー育成のための英語スキルアップ研修

回・日時	研修テーマ
第1回 令和6年10月19日(土)13:00~14:30	ガイダンス、スピーキング事前 タスク(日本語・英語)
第2回 令和6年11月2日(土)13:00~15:00	ソーシャライジング(英語)
第3回 令和6年11月30日(土)13:00~15:00	ピッチ・プレゼンテーション (英語)
第4回 令和6年12月7日(土)13:00~15:00	ポスター・プレゼンテーション (英語)
第5回 令和6年12月14日(土)13:00~14:30	ふりかえり、スピーキング事後 タスク(日本語・英語)

会場: 研究所棟 1-107 サイエンス・コモンズ

形式: 完全対面・グループワーク

参加者: 14名

女性研究リーダー育成を目的に、国際学会等で即興的に英語で効果的なコミュニケーションを行う力を養う全5回の英語スキルアップ研修プログラムを実施しました。スピーキング活動やピッチ・プレゼン、ポスター発表などを通じて、参加者は実践的な英語運用力を高めました。講師のロン・リード氏による指導のもと、参加者は回を重ねるごとに自信を深め、最終回では「他の参加者から多くを学べた」「英語を話しやすい雰囲気だった」といった声が寄せられました。

2024年度
女性研究リーダー
育成のための
英語スキルアップ
研修プログラム

English Skill-Up Program for Future Multiple Research Leaders

研修概要
本学が主催する「女性研究リーダー育成のための英語スキルアップ研修プログラム」は、国際学会等で即興的に英語で効果的なコミュニケーションを行う力を養うことを目的として、全5回の英語スキルアップ研修プログラムを実施しました。スピーキング活動やピッチ・プレゼン、ポスター発表などを通じて、参加者は実践的な英語運用力を高めました。講師のロン・リード氏による指導のもと、参加者は回を重ねるごとに自信を深め、最終回では「他の参加者から多くを学べた」「英語を話しやすい雰囲気だった」といった声が寄せられました。

研修内容
第1回 10/19(土) 13:00-14:30 ガイダンス、スピーキング事前タスク(日本語・英語)
第2回 11/2(土) 13:00-15:00 ソーシャライジング(英語)
第3回 11/30(土) 13:00-15:00 ピッチ・プレゼンテーション(英語)
第4回 12/7(土) 13:00-15:00 ポスター・プレゼンテーション(英語)
第5回 12/14(土) 13:00-14:30 ふりかえり、スピーキング事後タスク(日本語・英語)

研修形式: 完全対面、グループワーク
定員: 20名

対象: 本学の教員および学生・博士課程の学生(在籍、転出、転入は構わない) ※参加費は研修費に別途お支払いください

申込方法: Google フォーム
https://forms.gle/6xkLxYQ2zaxapDA6

お問い合わせ先: 女性研究リーダー育成推進センター
TEL: 0758-45-3006 / 内線 2361・2362
E-mail: ceaff@mukogawa-u.ac.jp

女性研究者交流会

日時: 令和6年12月18日(水) 17:00~18:30

会場: 研究所棟 1-107 サイエンス・コモンズ

参加者: 13名

「女性研究者交流会〜共同研究の魅力と課題を語り合う〜」をテーマに、共同研究支援制度に採択された女性研究者による研究紹介や、参加者同士の自己紹介に続き、グループに分かれての自由な意見交換が行われました。

ディスカッションでは、研究仲間の見つけ方や、共同研究を円滑に進めるための工夫など、実践的な話題が活発に交わられました。参加者からは「同じテーマでも断られることがある」「誘う際は双方にとってのメリットを伝えること

が大切」といったリアルな声も共有され、「新たな視点を得られた」「研究の励みになった」「キャリア形成のヒントが得られた」などの感想が寄せられました。



研究倫理塾

研究倫理塾を開催しました

日時	場所	参加人数
令和6年9月21日(土) 10:45~12:15	C-601	延べ 約60名
令和6年10月5日(土) 10:45~12:15		
令和6年10月19日(土) 10:45~12:15		

研究推進センターでは、研究不正の未然防止と研究者としての倫理観の醸成を目的として、「研究倫理塾」(全3回)を開催しました。捏造・改ざん・盗用に加え、二重投稿や不適切なオーサーシップなどのグレーゾーン行為について理解を深めたり、最終回では、責任ある研究行為(Responsible Conduct of Research)の重要性が強調され、参加者からは「教育の本質を考える機会になった」「他者との意見交換が有意義だった」といった声が寄せられました。



KAKEN塾

■ 若手・基盤研究(C)対象

日時	場所	参加人数
令和6年6月1日(土) 10:00~12:00	L2-53	24名
令和6年6月15日(土) 10:00~12:00		
令和6年6月29日(土) 10:00~12:00		
令和6年7月13日(土) 10:00~12:00		
令和6年7月27日(土) 10:00~12:00		

■ 基盤研究(B)以上対象

日時	場所	参加人数
令和6年6月8日(土) 10:45~12:15	I-107	延べ3名
令和6年7月6日(土) 10:45~12:15		
令和6年8月3日(土) 10:45~12:15		

科研費の応募件数・採択率向上を目指し、「若手研究と基盤研究(C)対象」、「基盤研究(B)以上対象」の2つの「KAKEN塾」を6月から8月にかけて実施しました。参加者からは「講師からの助言や講話による新たな知見の獲得に加えて、他学科教員との意見交換や交流も大变得難い経験だった」、「専門分野以外の先生から意見をいただけるのは、新鮮でとてもよかった」など、満足度の高い声が多く寄せられました。



KAKEN塾+

日時	場所	参加人数
令和7年2月26日(水) 13:00~16:00	I-107	18名
令和7年3月6日(木) 10:00~13:00	P1-15	
令和7年3月8日(土) 9:30~12:30	I-107	

本学の研究者を対象に、研究テーマの選定や科研費申請、共同研究の進め方など、研究活動に関するさまざまな悩みに対し、外部の専門家が個別にアドバイスを行う「KAKEN塾+研究相談会」を開催しました。相談内容は、研究テーマの選定や進め方、科研費や助成金に関する不安、研究計画の立て方、社会実装への展開、研究手法の高度化など多岐にわたりました。参加者からは「年に数回このような相談会を設けてほしい」との声が多数寄せられました。



第1回大学院生交流会

日時: 令和6年9月9日(月) 14:00～16:00
 会場: 公江記念館(KM) 7階 プロジェクトラウンジ
 参加者: 26名

大学院生向けの交流会は今回が初の試みで、参加者は4グループに分かれ、「研究の楽しさ・大変さ」「モチベーションの保ち方」「将来のキャリアやワーク・ライフ・バランス」などのテーマで意見を交わしました。

模造紙に自由にアイデアを書き出しながら対話を深め、教員もファシリテーターとして加わり、活発な議論が展開されました。「他分野の研究者との対話がヒントになる」「手厚い指導が武庫女の魅力」といった声が上がリ、「自分だけが悩んでいるのではないと分かって安心した」「進学してよかったと改めて思えた」といった感想も聞かれました。

大学院のリアル・研究の楽しさを発見しよう！
大学院生交流会
 2024.9.9 @ 14:00-16:00
 会場: 公江記念館(KM) 7階 プロジェクトラウンジ

プログラム
 14:00～14:30 参加者の自己紹介・研究紹介
 14:30～16:00 5-6人に分かれてディスカッション

参加無料
 参加費0円
 申し込み締切: 9月5日(木)

対象者
 本学の大学院生(博士課程・修士課程)
 本学の大学院に興味がある学生
 本学教職員

お問い合わせ先: 武庫川女子大学 女性研究リーダー育成推進センター
 TEL: 0788-45-3506 内線: 2961～2965
 E-mail: csw@wkuogawa-u.ac.jp



第2回大学院生交流会

日時: 令和7年3月1日(土) 13:30～15:30
 会場: 公江記念館(KM) 7階 プロジェクトラウンジ
 参加者: 24名

第2回大学院生交流会では、ポスターやモニターを用いた研究紹介・成果発表が行われ、8専攻から11名の大学院生が登壇しました。発表者は修士課程1年生から博士課程まで幅広く、研究の進捗や進学の経緯など多様な視点が共有されました。会場では大学院生が司会を務め、終始リラックスした温かい雰囲気の中で進行されました。

参加者からは「普段接する機会のない分野の研究を知ることができ刺激になった」「次回は自分も発表してみたい」といった声が寄せられました。

2024年度 第2回
大学院生交流会
 第1回大学院生交流会が開催されたことを記念し、第2回大学院生交流会を開催します。今回は、研究紹介のポスターセッションやモニターを用いた研究紹介・成果発表が行われ、参加者は修士課程1年生から博士課程まで幅広く、研究の進捗や進学の経緯など多様な視点が共有されました。会場では大学院生が司会を務め、終始リラックスした温かい雰囲気の中で進行されました。

2025.3/1 @ 13:30-15:30

参加者: 30名 参加費: 無料
 対象者: 大学院生(博士課程・修士課程)
 大学院に興味がある学生
 教職員

会場: 中央キャンパス 公江記念館7階 プロジェクトラウンジ

発表形式: 少人数向けの研究発表(以下いずれかの形式を選択)
 A: ポスター発表(※A:またはB:を必ず)
 B: モニターやタブレットに写した発表資料(※モニターやタブレットは提供せず、ノートPCやタブレット画面を撮影させていただきます。撮影機材は2台1台ご用意ください。)

発表時間: 15分(質疑応答含む)
 発表時間: 日本語または英語
 発表内容: 進捗や今後の研究、研究進行中の研究、今後取り組みたい研究紹介

司会: 豊田 文子(文学部国際英米学専攻 博士後期課程1年)
 開会: 13:30～13:35 開会のことば
 13:35～15:25 研究発表
 15:25～15:30 閉会のことば

発表・参加申込は Google フォームより
<https://forms.gle/DNgkjpwmwjm66Ug59>
 申込締切: 2月10日(月)

お問い合わせ先: 女性研究リーダー育成推進センター
 TEL: 0788-45-3506 内線: 2962～2965 E-mail: csw@wkuogawa-u.ac.jp



行動計画Ⅳ「女性管理職(学長、副学長、学部長含む)への積極的な登用」

本ダイバーシティ事業では、女性研究者在職比率 50%以上、女性教授(管理職)比率を 40%とする目標を掲げています。令和6年度は、女性在職比率:目標 45.0%、実績 44.2%、女性教授(管理職)比率:目標 33.0%、実績 30.1%と、目標には及びませんでした。令和5年度は女性在職比率:目標 43.3%、実績 43.3%、女性教授(管理職)比率:目標 28.9%、実績 28.9%の数値より上げることができています。

本事業の社会実装

第2回シンポジウム

日時:令和7年2月21日(金) 13:30～15:30

会場:武庫川女子大学 日下記念マルチメディア館メディアホール

参加者:本学関係者・一般 139名

内容:開会挨拶 学長/女性研究リーダー育成推進センター長 瀬口和義

基調講演 「世界初!超簡単な脳波計測による感情のリアルタイム計測装置の開発と近未来テクノロジー」

慶應義塾大学理工学部教授/医学部精神神経科学教室兼担教授 満倉靖恵氏

令和6年度 活動報告 副センター長 高橋享子

令和6年度 武庫川女子大学 架橋横断的重点共同研究・グローバル共同研究報告

「難治性乳がん悪性化の機序解明と新治療戦略の創出」

薬学部健康生命薬科学科 教授 中瀬朋夏

「外国にルーツを持つ児童・生徒の学習意欲に関する社会福祉学的研究」

心理・社会福祉学部社会福祉学科 講師 野上恵美

「多分野介入による認知症予防教室における音楽活動の有効性」

音楽学部応用音楽学科 教授 一ノ瀬智子

開会挨拶 副学長/副センター長 高橋享子

「女子総合大学における挑戦的次世代女性リーダー育成プログラム」の第2回シンポジウムを「女性研究者の研究力強化とリーダー育成」をテーマに開催しました。参加者からは「講演された先生のバイタリティ、熱量、そして物事への考え方に触れることができ、自分も研究をしていこう!という思いになった」「共同研究、連携の重要性をより感じた」といった声が寄せられました。



広報活動

女性研究リーダー育成推進センターHPの充実



<https://www.mukogawa-u.ac.jp/~cewl/>

武庫川女子大学サイエンス・commonsHPの充実



<https://scommons.mukogawa-u.ac.jp/>

武庫川女子大学研究ポータルHPの制作



<https://research.mukogawa-u.ac.jp/>

NEWSLETTER vol.2 (令和6年10月発行)



https://www.mukogawa-u.ac.jp/~cewl/as-sets/pdf/newsletter_vol2.pdf

NEWSLETTER vol.3 (令和7年3月発行)



https://www.mukogawa-u.ac.jp/~cewl/as-sets/pdf/newsletter_vol3.pdf

■ 事業PR動画の作成（令和6年2月・3月撮影）女性管理職インタビュー動画



<https://youtu.be/O8WgynHnNf4>



<https://youtu.be/ij30wSvuO80>



<https://youtu.be/Xxu-245zRwE>



<https://youtu.be/kc6gcCVAHFY>



<https://youtu.be/2Bbz9Pb-f-Q>

事業報告書 令和5年度・令和6年度

2025年7月23日

発行 武庫川女子大学 女性研究リーダー育成推進センター
連絡先 〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46
武庫川女子大学 女性研究リーダー育成推進センター
TEL 0798-45-3506
FAX 0798-45-3686
URL <https://www.mukogawa-u.ac.jp/~cewl/>
<https://scommons.mukogawa-u.ac.jp>
E-mail cewl@mukogawa-u.ac.jp

(無断転載を禁ずる)



武庫川女子大学 女性研究リーダー育成推進センター

〒663-8558 兵庫県西宮市池開町 6-46

TEL : 0798-45-3506

Mail : cwrl@mukogawa-u.ac.jp

HP : <https://www.mukogawa-u.ac.jp/~cwrl/>
<https://scommons.mukogawa-u.ac.jp/>